



行政書士の出番ですよ!!

～不断の改善／信頼の構築～

兵庫県行政書士会

会長 大 口

すすむ
晋

行政書士の権利擁護の取り組みについて

～2月22日行政書士記念日に寄せて～



令和3年11月17日(水)日本行政書士会連合会(日行連)理事会において、権利擁護に関する基本理念※・活動方針案が承認され、月刊日本行政2022年1月号にて報告されました。

私は、今期日行連の権利擁護推進委員会委員長を拝命し、前執行部からの引き継ぎ事項として、本案上程にかかわらせていただきました。

権利擁護推進委員会が、基本理念・活動方針の策定に取り組んだ背景には、令和元年12月4日に公布された改正行政書士法(令和3年6月4日施行)の第1条目的に「国民の権利利益の実現に資する」との文言が追加され、従来行政書士が、国民の権利の実現やその侵害防止を図り、権利擁護に努めてきたことが反映されたという実情があります。

個々の行政書士が、権利擁護に対する意識を高め行動することが、誰一人取り残さない社会の実現を目指す国際目標であるSDGsの達成にもつながり、行政書士制度を持続的に向上させるものと考えます。

高齢者、障がい者、子ども、外国人、女性、性的マイノリティ(LGBT※等)に対する分野を重点活動領域とし、すべての人の権利が守られる健全な共生社会の実現を目指します。

さて、兵庫会における権利擁護の取り組みは、継続的なものも含めてさまざまな展開を行っており、行政書士記念日に際し、行動指針を踏まえてお伝えいたします。

行動指針(兵庫県行政書士会)

- (1) ポストコロナ社会等によるデジタル化に対応したICT等の取り組みを強化します。
- (2) 社会的責任(ISO26000等)の取り組みを通じた持続可能な会務運営を行います。
- (3) SDGs(持続可能な開発目標)などの社会課題への取り組みにより、行政書士制度の関与を明らかにした発信を行います。

■社会的責任およびSDGs「持続可能な開発目標」の取り組み

- ・社会的責任(ISO26000等)には、原則に人権の尊重があり、中核主題には、人権に取り組むべきことが示されていることから日行連方針とも呼応するものです。
- ・SDGs「10.人や国の不平等をなくそう」を本会の重点取り組み分野に掲げ、あらゆる人の書類(パソコン

やWEBなどによる電磁的記録を含む）作成およびその提出等を行う権利を擁護する活動を通じて、貢献することとしています。

そして、書類作成や申請・提出する等の権利を擁護することは、デジタル社会が進む中で、デジタルディバイドの是正に向けて、より一層重要な役割を担うことになります。

■市民に対する権利擁護の取り組み

- 企画部において、例年2月には、兵庫県のユニバーサル社会づくりの推進に関する条例制定を契機に権利擁護関連セミナーを神戸支部と連携して実施しています。今年も2月22日には、神戸市勤労会館およびWEB参加にて、行政書士記念日企画権利擁護公開セミナーとして、LGBT等の方における課題についてのセミナーを行います。なお、セミナー運営には、障害者差別解消法に基づき、要約筆記の導入を行っています。

また企画部では、外国人材受入支援センターの活動の一環として、神戸国際コミュニティセンターおよび尼崎市の相談支援を行っています。

さらには、各支部の主催により各種の無料相談会等を開催しています。

- 行政書士ADRセンター兵庫は、外国人の職場環境・教育環境に関する紛争、自転車事故に関する紛争、ペットその他の動物に関する紛争および居住用賃貸物件に関する敷金返済または原状回復に関する紛争の解決に取り組んでいます。なお、利用者への重要事項説明書には、点字仕様のものも用意しています。
- 広報部は、権利擁護の活発な発信を通じて、適正な行政書士制度や行政書士の選択に資する情報提供を行っています。
- 法規部は、行政窓口運営の適正化を目的とした非行政書士対応への取り組み等を通じて、行政書士の権利擁護関与への環境整備を行っています。

■行政等関係機関とのさまざまな連携・協働を見据えた取り組み

- ひょうご人権ネットワーク会議^{*}の関係団体として、兵庫県内の人権課題の共有とその解決に向けた協働や行政書士制度の役割の発信を行い、また、ひょうご住まいづくり協議会^{*}に参画し、高齢者、障がい者、外国人、LGBT等の住宅確保要配慮者の住宅セーフティネット制度の取り組みも行っています。
- 災害時には、被災者の多くが権利を侵害され、また権利利益の喪失が起り得ることから、それらの早期回復等のため兵庫県、39市町、2地方支部局と大規模災害時における被災者支援協力に関する協定を締結しています。
- 権利擁護には、福祉分野への関与が不可欠となるため兵庫県社会福祉士会^{*}との業務連携協定を締結しています。
- 高齢者、障がい者の権利擁護には、「コスモスひょうご」と連携して、成年後見の活動を行っています。
- 女性活躍社会を目指すと言われていますが、本会の女性会員数は、全会員数の2割にも達しておらず、兵庫県女性行政書士さくら会とその課題の共有を行うとともに、男女共同参画事業の取り組み連携を図っています。

■会員の権利擁護に対する品位保持および業務改善の取り組み

- 研修部において、新入会員義務研修、倫理会則義務研修に、兵庫県人権推進課から講師等の支援をいただき、人権課題を内容に組み入れて実施しています。また、権利擁護の業務改善に資する研修会を随時実施しています。
- 業務部は、多くの研究が権利擁護に関連しますが、重点分野としては、福祉・医療専門部会を中心に研究が進められています。

- ・総務部においては、今期本会が近畿地方協議会の運営当番会であり、2月11日に、女性行政書士交流会を開催します。大阪市立大学大学院都市経営研究科・永田潤子教授による「女性のWell-Beingって何だろう」と題し、基調講演等を行います。

■事務局における権利擁護の取り組み

- ・総務部において、職場環境の整備を事業計画とし、兵庫県施策の健康づくりチャレンジ企業^{*}に登録してパワーハラスメント研修を実施しています。

昨年、他の単位会の会員ではありますが、行政書士が、職務上請求書の不正使用という^{ざんき}慚愧に堪えない事件を起こしました。私たちの過去の猛省からも、権利を擁護する者が、それを侵害し、または、事案に加担するようなことは、決してあってはなりません。

2月22日の行政書士記念日は、行政書士の自覚と誇りを促すとともに、組織の結束と行政書士制度の普及を図ることを目的として制定されました。

その意図をおもひばかり、「誰一人取り残さない」SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みなどのさまざまな事業展開を通して、今まで以上に行政書士による権利擁護の浸透と行政書士制度の信頼性の向上に努める所存です。

最後に、2月22日行政書士記念日企画の公開セミナー等の事業への皆さまのご参加とさらなるご協力をお願い申し上げます。

《参考》

※行政書士の権利擁護に関する基本理念（日行連）

＜行政書士の権利擁護に関する基本理念＞

日本行政書士会連合会

行政書士は、基本的人権を尊重し、すべての人の権利を擁護するとともに、調和と真心をもって国民の生活向上と社会の繁栄進歩に貢献することを使命としています。

また、「国民の権利利益の実現に資する」という行政書士制度の目的に鑑み、行政書士の社会的役割を強く自覚し、地域に根差した権利擁護の取り組みを通じて、すべての人の権利が尊重される共生社会の実現に寄与します。

※「LGBT」は、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をとって組み合わせたもので、性的マイノリティの方を表す総称のひとつです。

※ひょうご人権ネットワーク会議

兵庫県HP > 暮らし・教育 > 生活 > 人権 > ひょうご人権ネットワーク会議について

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf06/hw05_000000012.html

※ひょうご住まいづくり協議会 <https://www.hyogo-sumai.jp/>

兵庫県HP > まちづくり・環境 > 住宅・建築・開発・土地 > 住宅 > ひょうご住まいづくり協議会について

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks26/kyogikai/hyogosumaidukuri.html>

※兵庫県社会福祉士会 <http://www.hacsw.or.jp/>

※健康づくりチャレンジ企業

兵庫県HP > 健康・医療・福祉 > 健康 > 健康づくり > 健康づくりチャレンジ企業

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf17/challenge_kigyo.html